

平成 29 年度 第 7 回 理事会 抄録

日 時 : 平成 30 年 1 月 7 日 (日) 9 : 30 ~ 12 : 30
場 所 : 日本理学療法士協会 田町カンファレンスルーム
出 席 : (理 事) 半田、内山、斉藤、森本
網本、伊藤、植松、梶村、黒澤、白石、大工谷、高橋 (哲)、高橋 (仁)、
田中、谷口、知脇、中川、中前、藤澤、松井、山根、吉井
(監 事) 太田、長澤、辺土名
(説明者) 浅川、松田 (53 回学術研修大会)

I. 審議事項

(全 5 題)

1. 第 53 回日本理学療法学術研修大会 (茨城) 収支予算について (斉藤副会長) (53 回学術研修大会 : 浅川、松田)	承認
第 53 回日本理学療法学術研修大会 (茨城) の収支予算について説明がなされ、承認された。	
(主な意見)	
<ul style="list-style-type: none">・参加費について、過去の全研より上がった印象が持たれるかもしれない。丁寧な説明・広報が必要。・全研が日研に変わることに、会員の理解が低い。もっと強力な広報が必要。協会とタイアップして検討して欲しい。・今後、開催地となる士会のモデルとなるためにも、余裕を持った運営が必要。体力の無い士会が次を担えない状況にはならないよう配慮してほしい。・士会への業務委託と業者委託の違いを明確にした方がいい。・業務委託受けることへのメリットは? →今後の士会運営にメリットがある (組織の強化)。今後、この経験をどう生かすのかが鍵となる。・当日参加できない会員に対して、研修会内容を e ラーニング等で公開することが可能か否か、引き続き検討する。・協会事務局と準備委員会の業務分担について、ある程度明確にした方がいい。整理が必要ではないか。	
2. 会館建設積立金取り崩しについて (半田会長)	承認
特定資産取扱規程第 5 条第 3 項により、12 月 2 日理事会で承認された会館建設に係る六本木の土地取得費用として充当するため、会館建設積立金の取り崩しについて承認された。	
3. 総会への会員除名の発議について (半田会長)	承認
本会会員が起こした不祥事案件について、平成 29 年 9 月 18 日に開催された懲戒委員会の答申に基づき、10 月 27 日付にて本人へ懲戒処分を通告した。うち 1 件 (退会勧告 (除名相当)) については異議申し立てが提出された。	
除名相当とされた該当者 2 名について、次回定時総会へ会員除名の承認を求める発議を行うか否か審議がなされた結果、1 名については発議を行い、他 1 名については発議しないこととなった。なお、その際の個人情報取り扱いについては、十分な配慮を検討することとなった。	

4. 常務理事（職能関連）の選定について	(半田会長)	承認
<p>空席となっていた職能関連担当の常務理事について、以下の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職能課報酬関連係担当：松井理事 ・職能課職域事業係担当：森本副会長 		

5. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>平成 29 年 11 月 16 日～12 月 15 日の間、新たに申請をした正会員 232 名の入会について承認された。また、復会者 12 名、休会者 82 名、退会者 76 名について報告された。</p>		

II. 報告事項

(全 10 題)

1 平成 29 年度 第 3 四半期職務執行状況報告	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長 網本常務理事、植松常務理事、梶村常務理事、 黒澤常務理事、高橋（哲）常務理事、吉井常務理事)
平成 29 年度 第 3 四半期職務執行状況について報告された。	

2 常任理事会 会議報告（12 月 2 日）	(斉藤副会長)
<p>以下のとおり第 9 回常任理事会の協議事項の結果等が報告された。</p> <p>協議事項：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 30 年度の予算案について 2. WCPT 特別会費の今後の取り扱いについて 3. WCPT 役員会の誘致に関する結果報告と今後の海外事業の方向性について 4. AWP 議長、台湾理学療法士協会への対応について 5. 海外事業展開に関する企業との契約締結の方向性について 6. 学術関連意見交換会の議題について 7. 日本理学療法士協会の目指す生涯学習システムと外部評価機構との連携構想 8. 第 53 回日本理学療法学会学術研修大会 in 茨城の協会企画について 9. WCPT ガバナンスレビュー専門家作業部会（GR-EWP）参加と活動の方向性について 	

3. 平成 30 年度理学療法士講習会の申請について	(植松常務理事、谷口理事)
<p>平成 30 年度理学療法士講習会を助成金事業（募集テーマ指定、助成対象 50 本）について、報告がなされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 10 月 24 日～11 月 24 日に公募を行ったところ、計 204 本の応募があった。 ・予算計画、企画内容などから審査を行い、助成金有 50 本、助成金無 152 本の計 202 本（基本編（理論）89 本、基本編（技術）25 本、応用編 88 本）を理学療法士講習会として採択した。 	

4. 一般社団法人全国大学理学療法学会から提出された答申書について (半田会長)

理学療法士養成課程の教員ならびに臨床実習指導者に必要な能力に関する答申書が提出された事が報告された。

- ・ 本会から委託した調査事項は、以下の通りである。
- (1) 課程修了時に学生が修得しておくべき能力
- (2) 上記を満足するための教員ならびに臨床実習指導者に必要な条件
- (3) 学生の志向性ならびに目的意識
- (4) 甲が上記を解決するために働きかけるべき項目、課題と対象

5. 会館建設の今後の方向性について (半田会長)

会館建設ならびに本会現会館の売却までのスケジュール (案) が報告された。

- ・ 建築業者選定については、4 月以降の一般競争入札となる予定。

6. 平成 30 年度 事業計画ならびに予算案について (斉藤副会長)

平成 30 年度事業計画ならびに予算案について、復活折衝の必要性を業務執行理事に確認したところ、提出がなかったため、ほぼ要求通りの事業計画、予算案を作成したことが報告された。

- ・ 今後は提出された事業の精査を行い、3 月の理事会で平成 30 年度の事業計画、ならびに予算案の審議を行う予定。

7. 平成 29 年度役員報酬等委員会 会議報告書について (市川委員長)

平成 29 年度役員報酬等委員会を開催した事が、会議結果とともに報告された。

- ・ 現規程運用から当面 1 年間は、役員執務や本会主催事業における講演回数等に関する実態調査を行う。その結果を受け、次年度に役員報酬等規程の変更および講師謝金取り扱いの検討必要可否について判断することとなった。

8. 日本障害者協議会 (JD) の会議出席報告について (黒澤理事)

以下の日本障害者協議会 (JD) 会議への出席が報告された。

< 総会 >

- 1、第 6 回総会 (開催日 : 2017 年 5 月 26 日)

< 理事会 >

- 1、第 5 回理事会 (開催日 : 2017 年 7 月 11 日)
- 2、第 6 回理事会 (開催日 : 2017 年 8 月 8 日)
- 3、第 7 回理事会 (開催日 : 2017 年 9 月 12 日)
- 4、第 10 回理事会 (開催日 : 2017 年 12 月 12 日)

9. 「第 2 回全国特別支援学校ボッチャ大会」について (梶村常務理事)

「第 2 回全国特別支援学校ボッチャ大会」について報告がなされた。

- ・ 共催として日本理学療法士協会が支援を行った。大会の概要・支援内容は以下の通り。

◇日時：平成 29 年 7 月 21 日

◇場所：港区スポーツセンター（東京都港区芝浦 1-16-1）

◇主催：一般社団法人日本ツチャ協会，ボッチャ甲子園実行委員会

◇支援内容：宿泊介助，大会運営，リハビリ相談，支援金（100 万円），等

10. 専門理学療法士制度 更新要件について

（植松常務理事）

専門理学療法士制度の更新要件について、常任運営審議会（11/27 開催）にて、来年度（2018 年度）からの更新対象者（2013 年度新規取得者）は 160 ポイントを申請要件とすることで合意された事が報告された。

以上